|  |
| --- |
| **平成26年度大阪の学校統計**  学校基本調査結果（速報）－平成26年５月１日現在－  大阪府総務部統計課 勤労･教育グループ  《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/gakkou_s/index.html> 》 |

平成26年７月31日に、平成26年度「大阪の学校統計」学校基本調査結果（速報）をとりまとめましたので、その概要を紹介します。

統計トピックス２

なお、この数値は速報値であり、後日（12月下旬）文部科学省から公表される学校基本調査報告書の数値が確定値となります。

**１　学校数**

　学校数は、幼稚園、小学校、高等学校（全日制・定時制）はともに減少傾向で、特に幼稚園では767園となり30年連続減少しています。また、中学校は534校、特別支援学校は47校でともに過去最高となっています。

専修学校,各種学校はともに前年度より減少し、各種学校では過去最低の45校となっています。

**学校数の推移**



**２　生徒数**



生徒数は、小学校では初めてピーク時（昭和55年度）の半数を割込み約45万６千人になっています。また、高等学校（全日制・定時制）では７年連続増加し約23万７千人に、特別支援学校では過去最高の約９千人となっています。

また、専修学校では３年連続増加し約７万人となっています。各種学校は前年度より減少し、約１万１千人となっています。



**３　長期欠席者数(平成25年度間：平成25年４月１日から平成26年３月31日）**

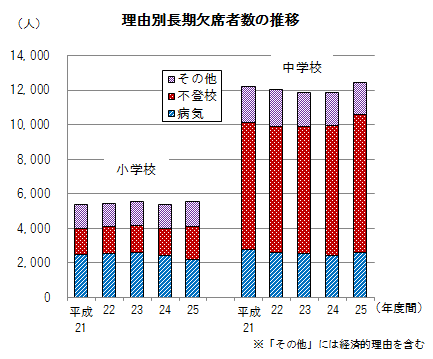
**（１）小学校**

１年間に30日以上欠席した長期欠席者数は5,605人で、理由別でみると「病気」が最も多く2,248人、次いで「不登校」が1,874人となっています。

前年度と比べると、長期欠席者数は178人増加しており、理由別では「病気」が233人減少、「不登校」は327人増加しています。

また、「不登校」による長期欠席者数が全児童数に占める割合は0.4％で、前年度より0.1ポイント増加しています。

**（２）中学校**



１年間に30日以上欠席した長期欠席者数は１万2,477人で、理由別でみると「不登校」が最も多く8,003人、次いで「病気」が2,627人となっています。

前年度と比べると、長期欠席者数は609人増加しており、理由別では「不登校」が519人増加、「病気」も141人増加しています。

　また、「不登校」による長期欠席者数が全生徒数に占める割合は3.2％で、前年度より0.2ポイント増加しています。

今回の調査結果では、中学校卒業者の高等学校等進学率が「98.0％」で昨年度の過去最高から0.2ポイント低下しています。

　　最近は高校授業料の支援制度や、府立高校の入学者選抜方法の変更など、高等学校を取り巻く環境の変化が大きくなっています。

　　今回はこうした高等学校にスポットをあてて紹介します。

**中学校卒業後**

**高等学校等への進学者　－進学率は98.0％（過去最高から転じて低下）－**

中学校卒業者の高等学校等への進学率は98.0％で、前年より0.2ポイント低下しています。

また、進学者数は８万3,807人で、前年より1,757人（対前年2.1％）増加しています。

なお、進学先別では、高等学校全日制課程が７万9,372人（構成比94.7％）、定時制課程が1,447人（同1.7％）、通信制課程が2,083人（同2.5％）、高等専門学校が249人（同0.3％）、特別支援学校高等部が654人（同0.8％）となっています。



**高等学校（全日制・定時制）**

**１　入学状況**－**入学者数は３年連続増加**－

入学者数は８万1,899人で、前年度より1,204人（対前年度1.5％）増加しています。

公立、私立別でみると、入学者数は公立では４万8,368人で前年度より1,475人（同4.2％）増加し、私立では３万3,080人で前年度より273人（同△1.9％）減少しています。



また、入学志願者数は、公立では８万580人で前年度より1,666人（同2.1％）増加し、私立では８万4,892人で前年度より1,262人（同1.5％）増加しています。

授業料支援制度等

平成22年度　公立高校生の授業料無償化

平成23年度　私立高校生等授業料支援補助金の拡充

平成24年度　公立高等学校入学者選抜（前期・後期）の拡充

平成26年度　高等学校等就学支援金制度の見直し

（所得制限の導入）

**２　生徒数　－私立は５年連続増加－**



生徒数は23万6,529人で前年度より3,534人（対前年度1.5％）増加し、７年連続増加しています。

設置者別では、国立が1,336人で前年度より９人（同0.7％）増加、公立が13万8,468人で、前年度より1,989人（同1.5％）増加しています。

私立の生徒数は９万6,725人で、前年度より1,536人（同1.6％）増加し、平成22年度から５年連続の増加となっています。

**３**　**卒業後の状況**

**（１）卒業者総数　－卒業者総数は前年より減少－**

卒業者総数は７万1,422人で、前年より1,084人減少しています。

**（２）大学等進学者　－進学率は３年連続低下から転じて上昇－**

進学率は58.3％で、３年連続低下から転じて前年より0.7ポイント上昇しています。

また、進学者数は４万1,668人で、前年より137人減少しています。

なお、進学先別では、大学（学部）が３万6,946人（構成比88.7％）、短期大学（本科）が4,638人（同11.1％）となっています。

**（３）専修学校等進学者　－各種学校入学者は２年連続増加－**

専修学校（専門課程）進学者数は１万766人で、前年より86人減少、専修学校（一般課程）入学者数は722人で、前年より202人減少し、各種学校入学者は4,168人で前年より366人増加しています。

**（４）就職者　－卒業者に占める就職者の割合は前年より0.4ポイント上昇－**

卒業者に占める就職者の割合は11.6％で、前年より0.4ポイント上昇しています。

また、就職者総数は8,287人で、前年より175人増加しています。

